

環境省主催 令和 6 年度
自然を活かす
上質なツーリズム人材育成・地域作り支援事業
《研修参加のしおり》

※本研修会は、(公社)日本環境教育フォーラム(JEEF)と一般社団法人日本エコツーリズム協会(JES)が、環境省より受託し実施します。

内容

このしおりについて.....	2
1. 那須集合研修に関することについて	3
(1)那須集合研修(11月26日(火)~28日(木)までに行っていただくことチェックリスト.....	3
(2)会場・アクセス・集合時間	4
(3)集合研修について	5
(4)参加にかかる費用とご納入	11
(5)宿泊・食事等について	12
(6)参加地域と参加者プロフィールの作成.....	13
2. 本研修事業全体に関することについて	14
3. 運営事務局の連絡先.....	22

このしおりについて

この度はご参加ありがとうございます。

この「研修参加のしおり」は、前半が 11 月 26 日(火)～28 日(木)まで実施する集合研修の参加に関するご案内、後半が本研修事業全体に関するご案内となります。必ず参加される皆様に共有の上、各自ご一読願います。

【重要】

応募フォームにおける「ウ 研修参加者について」に記載いただいたメンバーが2泊3日の那須の研修に全日程参加いただく前提で宿泊等の手配を進めております。

都合等によりやむを得ず参加や宿泊の期間に変更が生じる場合は、P.4 にて説明する宿泊手配に関するアンケート(Google フォーム)にて 11 月 15 日(金)までその旨お知らせ下さい。

※振込み後のキャンセルについては返金できませんのでご了承ください。

1. 那須集合研修に関することについて

(1)那須集合研修(11月26日(火)～28日(木)までに行っていただくことチェックリスト

- ☐ (全員)集合研修のしおり(この冊子)の確認
- ☐ (全員)オンラインでの事前ヒアリング(個別に日程調整)
→P.17
- ☐ (全員)事前自己学習(動画)の視聴(研修当日まで)
→P.18
- ☐ (必要な方のみ、個別)参加にかかる費用の受領証の発行依頼
→P.11
- ☐ (全員、代表者がとりまとめて)宿泊手配に関するアンケートへ回答(11/15まで)
→P.4
- ☐ (全員、代表者がとりまとめて)2日目(11/27)選択科目の申込(11/15まで)
→P.5
- ☐ (原則代表者がとりまとめて)集合研修参加にかかる費用の納入(11/15まで)
→P.11
- ☐ (代表者がとりまとめて)「地域紹介シート、参加者自己紹介シート」の作成・提出(11/15まで)
→P.13

(2)会場・アクセス・集合時間

➤ 会場

ホテルサンバレー那須 アネックス館 飛翔の間

【住所】〒325-0392 栃木県那須郡那須町湯本 203 【電話】0287-76-3800

※研修会場では、wifi 及び PC 用電源が利用できます。

➤ アクセス

公式ホームページアクセス情報

<https://www.nasu3800.co.jp/access/>

【公共交通機関・送迎バスでお越しの場合】

東北新幹線那須塩原駅から会場へ専用貸し切り送迎バスを運行します

送迎バス利用の希望はチームの代表者がとりまとめて「宿泊手配に関するアンケート」
(Google フォーム)にてお申し込みください(11 月 15 日(金)までに)。

行き 11/26(火) 11:30 那須塩原駅西口ロータリー 巻狩鍋前 集合

(東京方面からは 10:11 東京駅発→11:19 那須塩原駅着 やまびこ 207 号が便利です)

帰り 11/28(木) 研修会終了後に那須塩原駅まで送迎いたします。

(東京方面への 17:03 那須塩原駅発→18:16 東京駅着のやまびこ 216 号をご利用いただけるようにお送りいたします)

【お車でお越しの場合】

無料駐車場をご利用いただけます。

当日 11 月 26 日(火)は受付時間 12:00-12:50 の間に必ずお越しください。

(3)集合研修について

➤ 持ち物

☐ 筆記用具

☐ 各自、宿泊に必要なもの

(※アメニティは、浴衣、歯ブラシ、ハンドタオル、バスタオルがございます)

☐ 防寒着、上下別のレインウェア、折りたたみ傘、トレッキングシューズなどの歩きやすい靴、帽子、サブバック、手袋

(※2日目午前中に野外活動(森のガイドウォーク)を行う予定です。十分に暖かい装備、舗装 されていない箇所を歩ける靴をご用意ください。)

服装の参考：<https://nasuheisei-f.jp/preparation>

☐ (推奨)PC、タブレット等 配布資料を閲覧できる端末

☐ (必要な方は)1 日目の昼食

なお、ホテル内カフェ「アリアデリ」で食事ができます(テイクアウトはありません)。

<https://www.nasu3800.co.jp/cuisine/lunch.php>

施設内の売店は、お弁当のご用意はありません。お弁当持参の場合は、研修会場「飛翔の間」をご利用ください。

➤ 選択科目の申し込み

11 月 27 日(2日目)午後に開催する選択科目のご希望は、参加者がお一人ずつ、予め運営事務局までお申し込みください。入力の〆切は 11 月 15 日(金)です。

<https://forms>

➤ 資料の配布について

資源節約の観点から、集合研修では、原則として講義資料等を紙で印刷しての配布はございません。ダウンロードができる資料は、講義開始前までに事務局からデータで共有させていただきます。可能であればチームのお一人が、ノート PC やタブレット PC を持参願います。事後配布する資料がある場合は、ご連絡します。

<集合研修で使用する資料のダウンロードはこちら>

<https://www.>

➤ 研修スケジュール

※カリキュラム・時間については若干変更の可能性があります。

※都合により講師が変更になる場合もあります。予めご了承ください。

1日目 テーマ:地域目線を学ぶ

時間	講座名	講座番号	講座の概要
12:00	受付		
13:00	開会 主催者挨拶、関係者挨拶等		環境省がこの研修を企画・実施するねらいや背景、参加者に期待すること、研修終了後のサポートなどを紹介します。
13:50	自然を活かす”地域が元気になる”上質なツーリズムとは ～パートナーシップと地域の経済循環～ 講師:佐々木 真二郎(環境省)	6	”地域が元気になる”上質なツーリズムとはどういうことでしょうか？地域社会の持続的発展を目的として、地域の自然環境を基盤に、暮らし・歴史・文化を含む地域固有の価値に基づいた、来訪者が高い満足感を得られる「感動」や「学び」の機会を、地域の様々な主体が協働して提供し、ひいては自然環境の保全や環境意識の向上に寄与する観光のあり方です。上質なツーリズムを目指す上で、カギとなる内発的発展と地域循環共生圏、それを支えるパートナーシップについて、具体例も参考に理解を深めます。
14:20	休憩		
14:30	エコツーリズムによる観光地域づくり 講師:江崎 貴久	7	”地域が元気になる”上質なツーリズムを、エコツーリズムの推進を通じて実践している事例を学びます。地域とのパートナーシップを大切にしながら、一人3役(旅館の女将、エコツアーガイド、地域コーディネーター)をこなしてきた江崎講師から、取組みの背景にある想いと地域が目指す姿について、事例と共に紹介します。ツアー参加者、地域経営者(プレーヤーとサポート側)、それぞれに求められること、観光立国推進基本法からエコツーリズム推進法と認定までの鳥羽市の取組、地域コーディネートの実践事例、事業による地域への経済効果などもご紹介します。
15:15	PKT、質疑(10分)、休憩(10分)		※PKT:ぺちゃくちゃタイム(チーム内で気づきを話し合う時間)
15:35	感動と学びにつながるインタープリテーションの基礎 講師:西村 仁志	8	インタープリテーションは、事前動画「インタープリテーションって何？」で学んでいますが、参加者には、なじみが薄いかもしれません。インタープリテーションは、施設や地域関係者が、来訪者に、何をどう伝えるかというコミュニケーションと言えます。事前動画を振り返りつつ、インタープリテーションと一般的な”解説”との違いや、インタープリテーションが来訪者体験の質の向上につながることを解説し、ポイントをおさえます。
15:55	インタープリテーション計画(施設型・エリア型)が地域にもたらす効果 講師:加藤 雅寛(環境省)	9	インタープリテーションは「迎える側と訪れる側のコミュニケーション」ということを前の講義で学びました。それを押さえた上で、「インタープリテーション計画」として体系建てて言語化することで、関係者が共通のビジョンを持つことができます。その意義や効果について紹介します。インタープリテーション計画はビジターセンターやホテルなどのひとつの組織の関係者で作成するのか、あるいは地域の様々な関係者と協働しつつエリア型の計画を作成するのか、ビジョンを共有する対象の範囲によって制作の難易度は変わります。ただし、関係者で打ち合わせを重ね、協働して作成するプロセスは共通です。その過程で、関係者間に起こった変化や、インタープリテーション計画を持つことによる効果について事例を含めて紹介します。
16:25	PKT、質疑(10分)、休憩(10分)		
16:45	地域資源を活かす「ツーリズム」とその機能 講師:府川 尚弘	10	ツーリズムを手段として地域資源を活かした有意義なコミュニティへの貢献や地域における「いきがい」の再認識、様々な関係者と連携・協働したデスティネーションマーケティングの有益性を考えます。

17:15	PKT、質疑(10分)、休憩(10分)		
17:35	ツーリズムと地域づくり ①エコツーリズムの先進地である屋久島の事例(ガイドの組織化、行政への働きかけ、地域における役割) ②キープ協会の地域連携の取組 講師:松本 毅/鳥屋尾 健	11	観光によるまちづくりの事例を、2つの地域の実践者の視点から学びます。 松本講師:屋久島は古くは主に林業の島であり、観光が産業の中心ではありませんでした。自然を案内するガイド事業の黎明期を経て、現在に至るまでの過程と、地域や行政を巻き込んで成し遂げてきたエコツーリズム推進の実践例を学びます。 鳥屋尾講師:キープ協会が活動している清里(山梨県北杜市)は、戦後、農村の問題を解決することを目指した開拓の歴史から始まりました。その後、地域と連携しながら環境教育、観光地域作りに取り組んできた事例から、中核となる施設や組織を中心とした来訪者体験の質の向上、地域連携のあり方について学びます。
18:25	1日の振り返り、質疑		
18:40	解散		サンバレー宿泊者はチェックイン、夕食へ

2 日目 テーマ:インタープリテーション(IP)体験+参加者ごとの講義の日

施設見学、事業経営

時間	講座名	講座番号	講座の概要
8:20	那須平成の森フィールドセンター集合		※サンバレー宿泊者は 8:00 に送迎バスで出発
8:30	インタープリテーション計画(施設型)とその実際 那須平成の森のインタープリテーション計画について 植村 友美/古瀬 浩史	12	施設型のインタープリテーション計画の実例として、「那須平成の森のインタープリテーション計画」の概要を紹介します。その中で、那須平成の森として、来訪者に持ち帰ってもらいたいメッセージについて理解します。
9:00	インタープリテーション体験、室内展示の案内 IP の皆様		複数のグループに分かれ、インタープリテーションを実際に体験することで、どのように来訪者体験が向上するのか、感動と学びはどうしたら得られるのかを、実際に体験しながら考えてみます。
10:30	意図開き、質疑応答(グループ別) IP の皆様		各グループごとに、インタープリターのねらいである、「来訪者に持ち帰ってもらいたいメッセージ」は何だったかを考え、その後、インタープリターから意図開きを行います。
11:00	那須高原ビジターセンター移動		
11:15	ビジターセンターの概要説明、セルフ見学、昼食	13	
12:40	地域に根差したエコツアーの実践 新谷 雅徳	14	世界のエコツアーの趨勢にふれつつ、静岡県富士宮市において、インタープリテーションをベースに来訪者の「感動」と「学び」をプロデュースし、地域と連携した高付加価値、高単価のエコツアーを計画、事業化に取り組んでいる実践例について紹介します。
13:10	PKT、質疑		
13:20	会場片づけ、サンバレー那須に移動		
13:50	選択科目	15	参加者が自分で選ぶ科目群
	感動と学びのガイディング・プログラム作り 松本 毅/木村 雄志	15.1	地域で観光客に対応するガイド・インタープリターは地域の顔であり、良質なプログラムやガイディングが求められます。どのように感動や学びの体験を高めて、ファンになってもらうのか、実践的な事例紹介と質疑応答で進めていきます。
	集まれ！インタープリテーション全体計画作成に取り組みたい地域 地域の関係者とともにつくるテーマ(ストーリー) 古瀬 浩史/西村 仁志	15.2	地域を元気にする上質なツーリズムを目指す上で、地域の様々な関係者が共通のビジョンのもと、主体性を発揮し協働しながらそれぞれの立場で取り組みを進める上で、有意義なツールとなるもののひとつが、地域で作成する「インタープリテーション全体計画」です。ガイド、インタープリターのみならず、宿泊事業者、交通事業者、土産物店、地域の方など様々な立場の人が、地域で来訪者を迎える際のコミュニケーション戦略にもなります。本講座では、「インタープリテーション全体計画」を地域で作ってみたい、又は作っている方々に参考になるよう、参加者の質疑に応え、「インタープリテーション全体計画」のコアとなるストーリー(テーマづくり)を考えていきます。
	地域のツーリズムマーケティングとプロモーションの協働 府川 尚弘/新谷 雅徳	15.3	地域のマーケティングとプロモーションは、様々な組織との幅広い連携が必要になります。本講座では、静岡県での事例を基に組み込みの方向性を学びます。DMO とツアーオペレーターが相互補完的に地域のエコツーリズムを育て、地域との連携をとりつつ発展させてきた過程を、DMO 経験のある府川講師、国内外で地域に根ざしたツーリズムの事業化を推進している新谷講師からお話いただきます。参加者相互の意見交換や悩み相談を通じて、参加者の地域での取組に参考にできる点などを、皆で考えます。

	地域内の協力体制とコーディネーターの役割 松田 光輝/山崎 宏	15_4	地域コーディネーターは、受け入れ地域の振興や活性化を目指し、1)関係者間を調整する、2)旅行者の欲求や旅行会社の動向を把握する、3)同業組織をリサーチする、4)今後の社会状況やニーズを察知する等が求められるでしょう。何より、プログラムを企画・運営するには、地域内の協働は欠かせません。本講義では、講師や所属する組織が地域でどのように取り組みをしているか事例を紹介し、参加者の質疑に答える形式で進めていきます。
15:50	休憩		
16:20	マーケットインの視点から見た商品開発と販売促進 木村 雄志	16	現在のアウトドア、自然体験等の市場と商品の状況を概観します。その上で、競争力のある商品づくりの考え方、インターネットを含む販促についての基礎を学びます。
16:50	PKT、質疑(10分)、休憩(10分)		
17:10	事業経営の実際 ・知床ネイチャーオフィス ・ホールアース自然学校 松田 光輝/山崎 宏	17	エコツアー事業者、自然学校運営者の観点から、それぞれの経営についての実態を紹介し、目指すべき事業経営の規模感を学びます。個人での事業から、法人への規模拡大が地域の活性化に寄与することを紹介します。
18:10	PKT、質疑(10分)、休憩、移動(10分)		
18:30	夕食		

3 日目 テーマ:カウンセリングの日 自然保護と利用、行動計画

時間	講座名	講座 番号	講座の概要
8:50	集合		チェックアウトを済ませ集合
9:00	これからの保護と利用のあり方 松田 光輝	18	自然を守ることの真の目的と、保護と適切な利用の在り方について、 知床の事例をもとに現場・行政などの視点を通して学びます。
9:30	OKT、質疑		
9:40	行動計画の作成とプランニング 川嶋 直	19	グルー プワークで、行動計画を作成するポイントを紹介します。
10:00	行動計画づくり(1)	20_1	
10:50	休憩		
11:00	行動計画づくり(2)	20_2	
12:00	昼食		
13:00	中間報告	20_3	
13:30	行動計画づくり(3)	20_4	
14:30	アンケート記入 チーム内で学びや成果を共有		
14:50	講師から、今後のアドバイス		
15:10	今後の事務連絡		
15:15	閉会式		
15:20	解散		

(4)参加にかかる費用とご納入

研修参加にかかる費用(実費)は各自ご負担をお願い致します。なお、研修期間中は、原則、全員全日、研修施設にてご宿泊・お食事とさせていただきます。

➤ 参加にかかる費用と内訳

お一人様あたり **35,500 円**(税込)

1 日目	夕食	¥6,600
	飲み放題	¥3,300
	宿泊	¥6,600
	入湯税	¥150
2 日目	朝食	¥1,650
	昼食(お弁当)	¥1,100
	夕食	¥6,600
	宿泊	¥6,600
	入湯税	¥150
3 日目	朝食	¥1,650
	昼食(お弁当)	¥1,100
計		¥35,500

➤ 費用のご納入について

事前のお振込みをお願いします。(納入期限:11 月 15 日(金)まで)

原則、チーム全員分まとめてのお振込みをお願い致します。

個人でのお振込みとなる場合は事務局 坪根(tsubone@ecotourism)までお知らせください。

※振込み後のキャンセルについては返金できませんのでご了承ください。

お振込み先

三井住友銀行 ●●支店

一般社団法人日本エコツーリズム協会

※恐れ入りますが振込手数料はご負担下さい

※振込人名義は【P13 に記載の研修での呼称+申込者(組織)名】等、事務局がわかりやすい形でご記載いただけますよう、ご配慮いただけますと幸いです

➤ 受領証の発行について

参加にかかる費用についての受領証の発行をご希望の場合は、個別にメールにて事務局 坪根(tsubone@ecotourism)まで下記の事項をお知らせください。

①日付

②宛名

③但し書き

※原則、PDF での発行・メールでのご送付とさせていただきます。

(5)宿泊・食事等について

チームで取りまとめの上、宿泊手配に関するアンケートにご回答ください。締め切り 11 月 15 日。

【重要】応募書類の「ウ 研修参加者について」にご記載いただいたメンバーが2泊3日の那須の研修に全日程参加いただく前提で宿泊等の手配を進めております。都合等によりやむを得ず参加や宿泊の期間に変更が生じる場合は、上記のアンケートにてその旨お知らせ下さい。

➤ 宿泊について

宿泊はホテルサンバレー那須本館となります(研修はアネックス館 1 階で行います)

原則、相部屋でのご案内となりますので予めご了承ください。

11 月 26 日(火)は、お部屋に荷物を置けるのは、講義終了後(18:40 頃)を予定しています。

貴重品は各自で管理ください(フロント預け可)

【注意】参加者側でホテルサンバレー那須以外の宿泊場所を選ぶことも可能です。その場合も、上述【宿泊手配に関するアンケート】に入力をしてください。

- ・3 日間を通して研修会場であるサンバレー那須までの往復交通手段や、夕食、朝食は、参加者側で手配をお願いします。
- ・11 月 27 日・28 日の昼食(お弁当、有料)は、ご用意が可能です。詳しくはお問合せください。
- ・11 月 27 日に、サンバレー那須から出発する研修【那須平成の森フィールドセンター訪問】、【那須高原ビジターセンター訪問】時は、ほかの参加者と一緒に、送迎バスの乗車が可能です。

➤ 食事について

サンバレー那須の宿泊者の食事は、1 日目:夕、2 日目:朝昼夕、3 日目:朝昼(計 6 食)をご用意します。

アレルギー等は【宿泊手配に関するアンケート】から事前にお知らせください。

11 月 26 日(火)の昼食を持参された方は、研修会場の「飛翔の間」にて、お召し上がりいただけます。

➤ 交流会について

1 日目の夕食時に交流会を開催致します(飲み放題付)。

お持ち込み自由ですので、地域の自慢の品々やお飲み物をぜひご持参ください。

➤ 売店について

本館 2 階に売店がございますので、ご利用ください。(21 時まで営業)

徒歩 15 分のところにコンビニがございます(セブン-イレブン 那須一軒茶屋店)

その他詳細については、ホームページ <https://www.nasu3800.co.jp/> をご覧いただくか、または事務局 坪根(tsubone@ecotourism)までお問い合わせください。

(6)参加地域と参加者プロフィールの作成

参加地域

番号	都道府県	参加地域(チームの代表となる組織)	研修での呼称
1	北海道	小樽観光協会 (一般社団法人 小樽観光協会)	小樽 (おたる)
2	岩手県	八幡平市、十和田八幡平国立公園 (株式会社八幡平 DMO)	八幡平 (はちまんたい)
3	山形県	磐梯朝日国立公園 出羽三山地域 (一般財団法人休暇村協会 休暇村・庄内羽黒)	羽黒 (はぐろ)
4	長野県	北佐久郡御代田町 面替地域 (面替地域里山整備利用協議会)	御代田 (みよた)
5	三重県	多気郡明和町 (一般社団法人明和観光商社)	明和 (めいわ)
6	京都府	京都市西京区 大原野地域 (COS KYOTO 株式会社)	大原野 (おおはらの)
7	兵庫県	神戸市 北区・西区 (神戸市 地域協働局 地域協働課)	神戸 (こうべ)
8	和歌山県	古座川町観光協会 (古座川町観光協会)	古座川 (こざがわ)
9	鳥取県	日野郡江府 大山隠岐国立公園 大山蒜山地域 (江府町役場 総務課 奥大山振興室)	江府 (こうふ)
10	広島県	廿日市市宮島町 (宮島きもの時間)	宮島 (みやじま)
11	鹿児島県	出水市 (出水市役所 ラムサール推進室)	出水 (いずみ)

➤ 地域紹介シート、参加者自己紹介シートの作成

事務局から「地域紹介シート、参加者自己紹介シート」のフォーマットをお送りします。メンバーに展開いただき、代表者が取りまとめて11月15日(金)までにメールにて事務局(kobori@jeef)までお送り下さい。

なお、このプロフィールは参加者全員に共有します。個人情報公開できる範囲でのご記入で結構です。

2. 本研修事業全体に関することについて

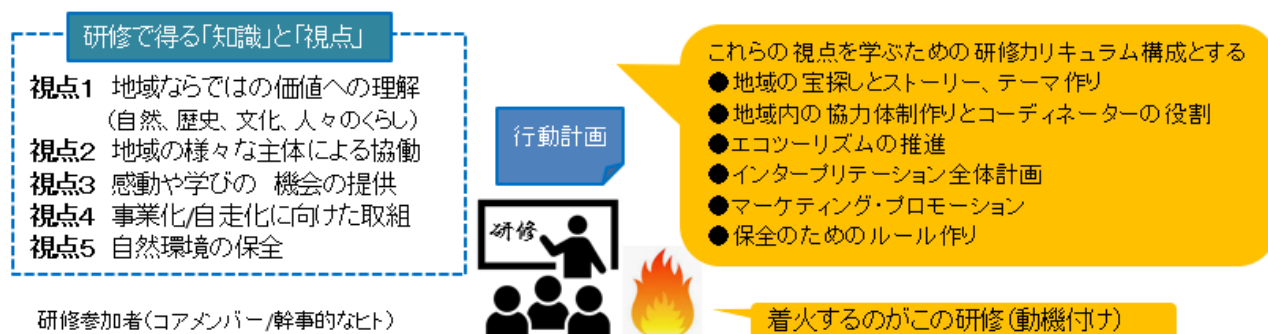
(1) 研修の全体目標

本事業は、研修参加者が、①「自然を活かす“地域が元気になる”上質なツーリズム」の考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を得ること、②それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定することを研修目標としています。将来的には、地域の様々な関係者による連携・協働が行動計画と共に進展し、地域における環境・経済・社会の課題が同時に解決されていくような、地域社会の持続的発展を目指しています。

下表は、本事業の目標を短期・中期・長期に分けて明示したものです。研修参加の成果物である行動計画を、研修参加後に各地域で実行することで、3～5年後を目処に達成されると期待される目標を中間目標とし、概ね研修参加10年後を目処に達成されると期待される目標を上位目標として位置づけています。

研修事業実施目標・成果		指標
長期的成果 (概ね10年後)	地域社会が持続的に発展する。	
中期的成果 (3～5年後)	研修を通じて作成した行動計画が進展する。 または、状況の変化に応じ改訂が行われる。	・行動計画の一部または全部に進展がみられる。 ・必要な場合、行動計画が見直される。
研修目標 (今年度)	①自然資源を活用した上質なツーリズムの考え方を理解し、それを実現するための鍵となる知識、視点を ②それぞれの地域・拠点での課題を的確に把握し、効果的な取組を行動計画に落とし込み目標を設定できる	研修参加者に上質なツーリズムの考え方(エコツーリズムやインタープリテーションに関する考え方を含む)が理解される。 その実現に必要な「知識」「視点」が理解される。 研修参加者によりそれぞれの地域・拠点での効果的な取組が行動計画に落とし込まれる。

本研修で定義する、「自然を活用した”地域が元気になる”上質なツーリズムとは；
地域社会の持続的発展を目的として、地域の自然環境を基盤に、暮らし・歴史・文化を含む地域固有の価値に基づいた、来訪者が高い満足感を得られる「感動」や「学び」の機会を、地域の様々な主体が協働して提供し、ひいては自然環境の保全や環境意識の向上に寄与する観光のあり方です。



研修のカリキュラム

集合研修は、(1)に記載した【研修の全体目標】の達成に向け、成果1と成果2の2つを設定し、下表のカリキュラムで構成しています。特に成果1につながるカリキュラムは、上質なツーリズムを達成するために鍵となる要素である「視点1:地域ならではの価値」、「視点2:地域の様々な主体による協働」、「視点3:感動や学びの機会提供」、「視点4:事業化/自走化に向けた取組」、「視点5:自然環境の保全」について、それぞれ該当する箇所に記載しています。

研修目標を達成するための具体的な成果(アウトカム)	成果を達成するためのカリキュラム		
成果1 自然資源を活用した上質なツーリズムを実現するための知識と視点を理解する	方法	番号	
視点1 地域ならではの価値	VTR	4	日本におけるエコツーリズム
	VTR	5	インタプリテーションって何だろう～その魅力と活用方法～
	VTR	22	アメリカ国立公園のインタプリテーション
	VTR	28	日本の自然環境の価値と意味
	VTR	29	自然保護・モニタリングについて
	ライブ	7	エコツーリズムにおける観光地域作り
	ライブ	8	感動と学びにつながるインタプリテーションの基礎
	ライブ	9	インタプリテーション全体計画(施設型・エリア型)が地域にもたらす効果
	ライブ	10	地域資源を活かす「ツーリズム」とその機能
	ライブ	14	地域に根差したエコツアーの実践
	ライブ	15.1	(選択)感動と学びのガイディング・プログラム作り
	ライブ	15.2	(選択)集まれ！インタプリテーション全体計画作成に取り組みたい地域
			～地域の関係者とともにつくるテーマ(ストーリー)～
視点2 地域の様々な主体による協働	ライブ	18	これからの保護と利用のあり方
	VTR	2	自然を活かす“地域が元気になる”上質なツーリズムとは
	VTR	4	日本におけるエコツーリズム
	VTR	5	インタプリテーションって何だろう～その魅力と活用方法～
	ライブ	6	自然を活かす“地域が元気になる”上質なツーリズムとは
			～パートナーシップと地域の経済循環～
	ライブ	7	エコツーリズムにおける観光地域作り
	ライブ	8	感動と学びにつながるインタプリテーションの基礎
	ライブ	9	インタプリテーション全体計画(施設型・エリア型)が地域にもたらす効果
	ライブ	10	地域資源を活かす「ツーリズム」とその機能
	ライブ	11	ツーリズムと地域づくり
	ライブ	15.2	(選択)集まれ！インタプリテーション全体計画作成に取り組みたい地域
			～地域の関係者とともにつくるテーマ(ストーリー)～
	ライブ	15.4	(選択)地域内の協力体制とコーディネーターの役割

研修目標を達成するための具体的な成果(アウトカム)		成果を達成するためのカリキュラム		
成果1				
自然資源を活用した上質なツーリズムを実現するための知識と視点を理解する		方法	番号	
視点3 感動や学びの機会提供	VTR	5	インタープリテーションって何だろう～その魅力と活用方法～	
	VTR	21	自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎	
	VTR	22	アメリカ国立公園のインタープリテーション	
	VTR	23	テーマに基づいたインタープリテーション	
	VTR	24	インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介	
	VTR	25	インタープリテーションのプログラム・デザインの手法	
	VTR	26	自然解説の組み立て	
	ライブ	8	感動と学びにつながるインタープリテーションの基礎	
	ライブ	9	インタープリテーション全体計画(施設型・エリア型)が地域にもたらす効果	
	ライブ	10	地域資源を活かす「ツーリズム」とその機能	
	ライブ	14	地域に根差したエコツアーの実践	
	ライブ	15_1	(選択) 感動と学びのガイディング・プログラム作り	
	ライブ	15_2	(選択) 集まれ！インタープリテーション全体計画作成に取り組みたい地域	
			～地域の関係者とともにつくるテーマ(ストーリー)～	
	視点4 事業化/自走化に向けた取組	VTR	27	ウェブマーケティングによる販売促進
VTR		30	既存顧客維持のための取組	
ライブ		10	地域資源を活かす「ツーリズム」とその機能	
ライブ		11	ツーリズムと地域づくり	
ライブ		14	地域に根差したエコツアーの実践	
ライブ		15_3	(選択) 地域ツーリズムマーケティングとプロモーションの協働	
ライブ		17	事業経営の実際	
視点5 自然環境の保全	VTR	4	日本におけるエコツーリズム	
	VTR	21	自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎	
	VTR	28	日本の自然環境の価値と意味	
	VTR	29	自然保護・モニタリングについて	
	ライブ	11	ツーリズムと地域づくり	
	ライブ	18	これからの保護と利用のあり方	
その他(全体)	VTR	1	研修のねらいと全体像	
	VTR	2	自然を活かす“地域が元気になる”上質なツーリズムとは	
	VTR	3	講師の自己紹介	
	VTR	31_1～31_4	参加者の声	
	ライブ	6	自然を活かす“地域が元気になる”上質なツーリズムとは	
			～パートナーシップと地域の経済循環～	
成果2				
知識を体験的に学ぶ機会を通じて理解が深まる (ワーク形式、アクティブラーニング形式)	ライブ	12	那須平成の森FC フィールド体験及び館内体験	
	ライブ	13	那須高原VC、館内体験	
	ライブ	15_1～15_4	選択科目(2日目午後)	
成果3		ライブ	19	行動計画の作成とプランニング
行動計画が作成されると共に参加者同士の学びあいが行われる	ライブ	20_1～20_4	行動計画作り	
	オンライン	32	行動計画発表会、講師及び受講者からのフィードバック	

(2) 事前ヒアリング（11月1日(金)～11月22日(金)までの間で実施）

オンライン(Zoom)で行います。運営事務局では、応募フォームの希望日時を参考に、参加地域と講師のスケジュール調整をします。事前ヒアリングは約1時間を予定しています。応募フォームに書かれた内容の確認、目指したい地域の姿、集合研修に向けた質問等、お伺いします。

<Zoomのダウンロードがまだの方へ>

※研修で使用する端末(PC等)に、Zoomのソフトウェア(ミーティング用 Zoom クライアント)を事前に(最新バージョン:1.9.0.2368 (0905)以上)インストールしていただく必要があります。事前に、当日利用する端末から、ZoomのURLにアクセスし、案内に従ってインストールお済ませ下さい。(最大で15分ほど要します)

<https://zoom.us/jp-jp/>

※ダウンロード済の方も、最新バージョンにアップデートを済ませておいて下さい。

(3) 事前自己研修(動画)

事前にご覧いただく動画(順不同で研修当日までにご視聴下さい)

NO.	講義番号	タイトル	時間(分)	担当	概要→ねらい
1	1	研修のねらいと概要	10	環境省 伊東 里佳	環境省がこの研修を企画・実施するねらいや背景、参加者に期待すること、研修終了後のサポートなどを紹介します。
2	2	自然を活かす”地域が元気になる”上質なツーリズムとは	20	環境省 佐々木 真二郎	本研修で定義する「自然を活かす」地域が元気になる”上質なツーリズム」(以下、上質なツーリズム)とは何か、またそれを実現する上で重要となる地域における主体性と協働による取組について具体的事例も交えつつ理解を深めます。
3	3	講師の自己紹介	20	各講師	各講師が、1～2 分程度で自己紹介をしている動画です。
4	4	日本におけるエコツーリズム	30	海津 ゆりえ	「上質なツーリズム」の基礎である、エコツーリズムについて学びます。エコツーリズムは、地域固有の自然環境や歴史・文化などの保全、地域の振興、観光の振興をバランスよく実現するための観光のあり方です。この講義では日本におけるエコツーリズムの導入、〇〇ツーリズムとの関係、地域における取組み事例(エコツーリズム全体構想策定・地域の宝探しなど)も紹介しつつ理解を深めます。
5	5	インタープリテーションって何だろう？～その魅力と活用方法～	35	古瀬 浩史 川嶋 直	「上質なツーリズム」を目指す上で、来訪者に「感動」と「学び」の体験を効果的にしていただくためにカギとなるのが「インタープリテーション」の技術です。この講義では「インタープリテーション」とは何か、その魅力と可能性について具体的な事例に基づき紹介すると共に、施設や地域レベルで作成する「インタープリテーション全体計画」について理解を深めます。
			約 2 時間		

※講義番号 2【自然を活かす”地域が元気になる”上質なツーリズムとは】、講義番号 4【日本におけるエコツーリズム】は、後日、公開いたします。

事後視聴の動画。可能な方は集合研修の前にご覧ください。

NO.	講義番号	タイトル	時間(分)	担当	概要→ねらい
6	21	自然体験活動におけるリスクマネジメントの基礎	20	佐藤 初雄	リスクマネジメントの全体像を知り、基礎を学びます。現場で押さえるポイントを取り上げます。
7	22	アメリカ国立公園のインタープリテーション	24	古瀬 浩史 古屋 絢子	アメリカの国立公園のインタープリテーションを紹介します。古瀬講師は、様々なインタープリテーションの様子を取り上げます。古屋講師は昨年度、日米インタープリテーション研修会に参加しました。通訳案内士の視点から気づいたことや所感、日本で参考になることを紹介します。 ※地域にインタープリテーションを取り入れようとしている地域は、ぜひ見て欲しいです。
8	23	テーマに基づいたインタープリテーション	10	古瀬 浩史	アメリカ型のインタープリテーションの基本となっている「テーマを基にしたインタープリテーション」を紹介します。
9	24	インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介	43	古瀬 浩史 鳥屋尾 健 川嶋 直 古屋 絢子 西村 仁志	インタープリテーションの様々な道具や手法を紹介します。インバウンド対応のための道具についても触れています。
10	25	インタープリテーションのプログラム・デザインの手法	22	古瀬 浩史 川嶋 直	参加者を迎えて「こんにちは」から「ありがとうございました」までの間をどのようにデザインするかを学びます(プログラム・デザインとは「時間設計・空間設計・関係性設計」のことを指します)。
11	26	自然解説の組み立て	28	松本 毅	ガイドプログラムにおけるお客様への情報伝達と理解促進、楽しさを演出するための、解説手順と効果的な見せ方について論じます。
12	27	ウェブマーケティングによる販売促進	28	木村 雄志	SNS の活用、SEO 対策等、オンラインでの商品販売の方法や流れを最新の動向を含めて概観します。
13	28	日本の自然環境の価値と意味	16	田中 伸彦	日本の自然の特徴を概観します。
14	29	自然保護・モニタリング	36	横山 隆一	エコツーリズムに携わるものに必要となる、保護保全とモニタリングの基礎的な知識(基本的な考え方、生態系サービス、モニタリングの基礎)を提供します。
15	30	既存顧客維持のための取り組み	31	木村 雄志	リピーターの獲得、「友人からのオススメ」をどう創出するか、また、User Generated Content(ユーザー生成コンテンツ)の重要性について。またデータ分析と予約システムの活用について学びます。

16	31_1	参加者の声 桜島 ジオサルク	10	取材:小堀	ヒアリング内容 1)参加年度、地域名、チーム構成 2)参加してよかったこと(学んだこと、アイデアを得たこと) 3)チームで参加する意義 4)研修に参加したことがきっかけで始めたとりくみ、現在、 どのように活かして活躍しているか 5)これから参加する方に先輩として一言
17	31_2	参加者の声 栗駒 山麓ジオパーク推 進協議会	7	取材:小堀	
18	31_3	参加者の声 長野 県原村	3	取材:坪根	
19	31_4	参加者の声 滋賀 県長浜市	7	取材:小堀	
			約3時間		

【動画のプレイリスト】

<https://youtube>.

(5)行動計画の発表会

(zoom)12月10日(火)10:00～17:00(入室開始 9:45)

トピック: 行動計画の発表会

時刻: 2024年12月10日 10:00 AM 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom>.

ミーティング ID: 881

※行動計画は、集合研修後、参加地域(チーム)で話し合い、ブラッシュアップをしてください。

※行動計画のデータは、12月9日(月)正午までに、運営事務局宛にメールで提出下さい。原則、電子データでの作成をお願いします。手書きの場合は、スキャンをして PDF データを提出ください。提出いただいた行動計画は、「行動計画の発表会」開催前に、各参加地域(チーム)、講師、環境省で共有します。

※他の参加地域(チーム)の発表や講師からのアドバイスは、ご自身のチームにも参考になる情報です。発表会参加の際はお手元に各参加地域(チーム)の行動計画をデータ又はプリントして御用意いただき、メモや話し合いの場面で活用ください。

※発表は、原則、各参加地域(チーム)のメンバーはできるだけ一箇所に集まって(同一端末から)参加してください。

※発表時は、行動計画を投影するか、若しくは別途、補助資料としてパワーポイント等を用意しても構いません。

※「行動計画」の発表時間は、10分間/地域です。発表後、コメントや質疑の時間を5分/地域設けます。

※発表に対するフィードバック(発表に対するコメント)は、発表を聞いている全員(環境省や講師も含む)から Google form にて寄せていただきます。

Zoom で使用している端末とは別に、各自のタブレットやスマートフォン等から入力してご送信いただきますので、お一人様一台ずつご用意ください。

(6)事後講師現地派遣

研修担当講師が現地を訪問し、行動計画の磨き上げにかかるアドバイス等を行います。派遣希望講師のリクエストや開催希望日時は、後日、運営事務局から確認します。実施時期は12月中旬～2月中旬を予定しています。

(7) レポートの提出

年度内に、行動計画の進捗についてのレポートを提出してもらいます、確認項目は①～④の予定です。分量は、計 A4 で 1～2 枚程度の想定です。締切り等の詳細は改めて御案内予定です。

①本研修参加前に抱えていた課題

- ②本研修を通して(または本研修をきっかけに)、着手した取り組みや、得られた成果
- ③今後予定されている取り組み
- ④今後の取り組みに際しての課題

(8)その他

- ①次年度以降の本事業改善に向け、事業評価アンケートにご協力いただきます。詳細は集合研修会場で御案内します。
- ②研修の様子は撮影させていただきます。撮影した画像や動画は、ウェブサイトや SNS、各種広告媒体、で利用させていただく場合がございます。

3. 運営事務局の連絡先

研修に関するお問い合わせは下記事務局までお願いします。

公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)担当:小堀

〈電 話〉03-5834 〈メール〉kobori@jeef

夜間・土・日・祝の緊急時は携帯 090-

一般社団法人日本エコツーリズム協会(JES)担当:坪根

〈電 話〉090- (携帯)〈メール〉tsubone@ecotourism

(事前の振込、宿泊、食事、バスの乗車については、こちらにご連絡ください)